

太宰府中学校 | 学年だより

第13号 R5.9.19 文責:1年学年主任

ハンセン病の向こう側

先日、道德で「ハンセン病の向こう側」という学習しました。

ハンセン病とは、次のような病気です。(日本財団のホームページより抜粋)

らい菌 (*Mycobacterium leprae*) が主に皮膚と神経を侵す慢性の感染症ですが、治療法が確立された現代では完治する病気です。1873年にらい菌を発見したノルウェーのアルマウェル・ハンセン医師の名前をとり、ハンセン病と呼ばれるようになりました。

1943年には米国で「プロミン」がハンセン病治療に有効であることが確認されたのを契機に、治療薬の開発が進み、1981年にWHOが多剤併用療法 (MDT) をハンセン病の最善の治療法として勧告するに至りました。ハンセン病は完全に治る病気になっています。

この内容だけを読むと、他の病気と変わらないし、完全に治る病気なら問題ないのではと思いますが、ハンセン病の歴史をたどると、その背景には何世紀もの間にわたって、感染した人々とその家族に対する偏見と差別がありました。科学が発展し、ハンセン病の治療が確立された現代でも、いまだにその偏見は深く、多くの感染者の方やそのご家族が今なお苦しんでいます。

今回の授業では、動画やパンフレットを使って、ハンセン病に対する正しい知識を学ぶことで、偏見をなくしてほしいことを伝えました。皆さんの感想を一部紹介します。

・まず、知識や正しい情報などを知り、次の世代にハンセン病はうつりにくく治る病気だということ伝えていく。自分は、この病気があるのも深刻なことが起きていたことも知りませんでした。この授業を受けてよかったと思いました。

・なんとなくの知識や情報で差別や偏見をせずに、正しい知識と情報を得ないといけない。そして、私たちもハンセン病について学び次の世代にも伝えていかないといけない。

・1つの側面だけでなく、すべてのことを事実として受け止め、正しい知識を身につけることが大切だと感じました。

・ハンセン病以外にも病気にかかった人に対しての差別をしないで、病気のことをもっと知って、正しく判断できる知識を身につけることが大切だと感じました。

ハンセン病を扱った書物や映画は昔からありました。有名なものでは、ハリウッド映画「ベン・ハー」や日本映画「砂の器」などがあります。(おうちの方がご存じかもしれませんね)

宮崎駿のアニメ映画「もののけ姫」にも出てきます。山を切り崩し製鉄所をつくる「エボシ様」は、一見、自然を破壊する悪者のように思われますが、彼女は、ハンセン病患者の人々を集めて、鉄から火縄銃をつくらせる仕事を与えていました。彼女は、「人として生きて行ける」そんな社会を作っていたのです。患者の一人が主人公のアシタカに語る言葉は、胸を深く突き刺します。

「・・・行くあてのない私たちをエボシ様だけが受け入れてくれた」

「・・・その人はわしらを人として扱ってくださった。たった一人の人だ。

わしらの病を恐れず、わしの腐った肉を洗い、布を巻いてくれた・・・。」

皆さんの感想の中には、今の社会状況と照らし合わせたものもありました。

・今まで、差別や偏見された人々や長い間隔離された人は、家族にも会えずにそのまま亡くなってしまふ。そんな悲しい思いをした人々がいると思うと、自分や周りの人も病気にかかってしまった人の気持ちを考えないといけないと思いました。

・みんなが「こうしているから必ずこうなんだ」と思うのではなく、本当にそれが事実なのかを詳しく調べる。ただの思い込みで差別をしたり、近づかなかつたりするのではなく、しっかりと本当のことを調べることが大切だと思いました。

・ハンセン病を風化させずに、次の世代につないでいく。「ハンセン病」という病気を忘れないという心が大切だと思いました。

・昔のことを引くのではなく、今ある事実を把握して適切な行動を行うことが大切だと思います。

私たちが直面している「コロナウイルス」も、ネットの誹謗中傷の書き込みも、差別や偏見を生んでいるのは「本人の責任ではないこと」「根拠のないこと」を責めていることです。

コロナに罹患した人を詮索して名前を暴いたり、謝罪を要求したり、理由のない噂をネットで広げて、本人の心を傷つける行為は、人として最も卑怯なことだと思います。

皆さんの感想を全て読ませてもらい、鋭い感性と慧眼の高さに驚くばかりでした。

「慧眼」とは、「物事の本質や真偽を見抜く眼力」「鋭い洞察力」という意味です。また、物事を鋭く見抜いた結果として「先を見通す力」という意味でも使われます。

皆さんが学校で学んだことを社会と結びつけて、「おかしいことはおかしい」と見抜ける感性が高まれば、きっと「ハンセン病の向こう側」には、誰もが安心して過ごせる明るい未来が待っていると思います。

(右はハンセン病患者とその家族に対して、国として謝罪した小泉元首相の記事)

